令和５年度

網走市における景気動向調査

＜第Ⅱ四半期＞

報　告　書

網　走　商　工　会　議　所

目　　次

第１章　調査要領

1 - 1　調査時点及び調査対象期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1 - 2　調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1 - 3　調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1 - 4　回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２章　概況

2 - 1　全体の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 - 2　業種別の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

１）建設業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２）製造業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３）卸売業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

４）小売業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

５）サービス業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第３章　業種別設備投資の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

第４章　業種別経営上の問題点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第５章　業界の景気動向等その他のご意見 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

第1章　調 査 要 領

1-1．調査時点及び調査対象期間

⑴　調 査 時 点 ：令和5年7月1日（土）～令和5年9月30日（土）
⑵　調査対象期間：令和5年7月～9月期実施、及び令和5年10月～12月見通し

1-2．調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

1-3．調査方法

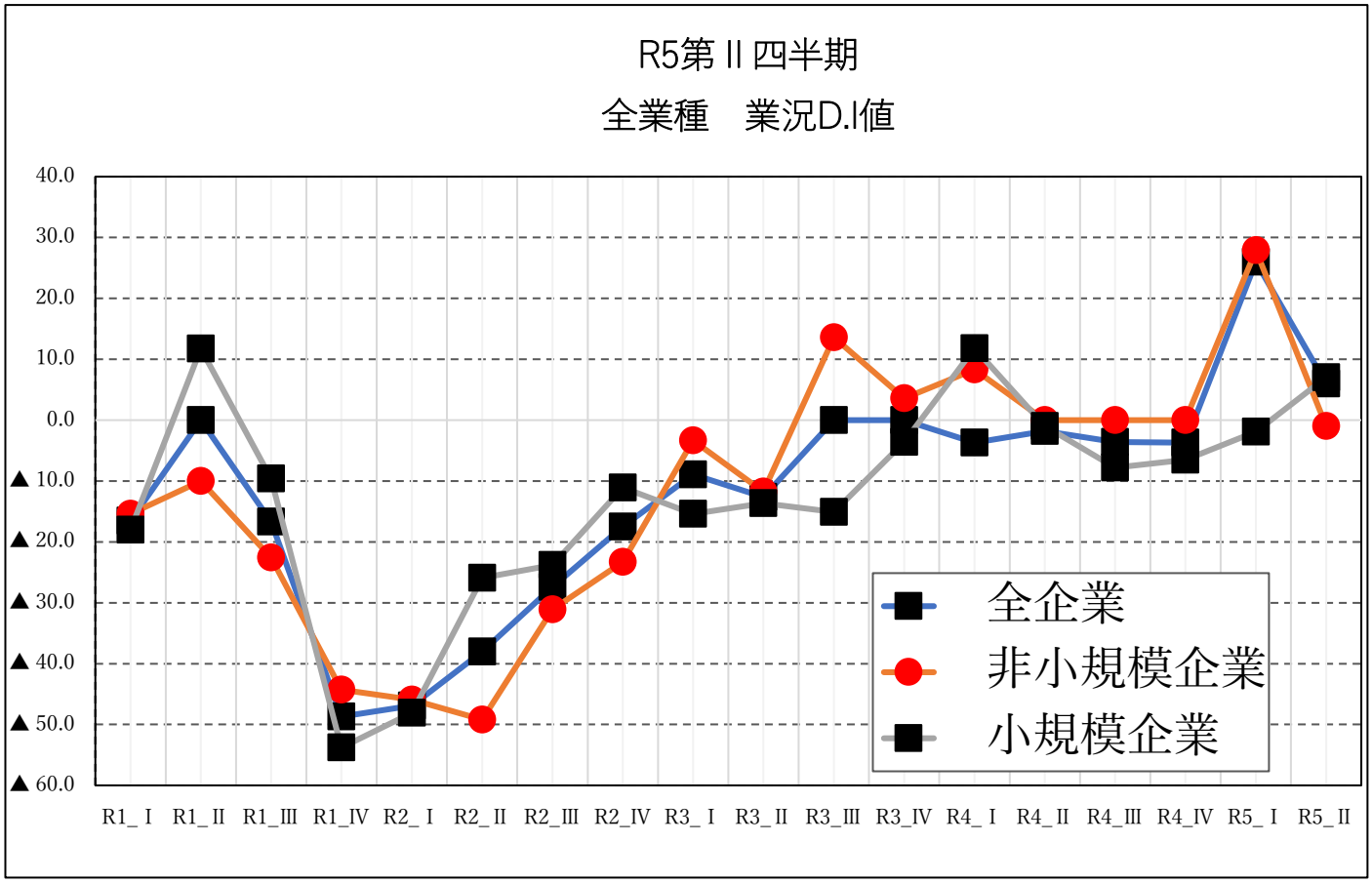
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Googleフォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4．回収状況

企業数 業種	対象企業数	回答企業数	回答率
建　設　業	30 件	22 件 （非小規模企業：　9 件） （　小規模企業：　13 件）	73.3 %
製　造　業	24 件	16 件 （非小規模企業：　11 件） （　小規模企業：　5 件）	66.7 %
卸　売　業	20 件	13 件 （非小規模企業：　9 件） （　小規模企業：　4 件）	65.0 %
小　売　業	40 件	25 件 （非小規模企業：　17 件） （　小規模企業：　8 件）	62.5 %
サービス業	44 件	24 件 （非小規模企業：　13 件） （　小規模企業：　11 件）	54.5 %
合　　計	158 件	100 件	63.3 %

第２章　概 況

２-１．全体の動向



令和５年度第Ⅱ四半期（７月～９月）の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」26.0%、「悪化企業」20.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は 6.0 となり、前回（D.I 値△1.9）に比べ、その差は 7.9 ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」13.0%、「悪化企業」14.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は△1.0 となり、前回（D.I 値△8.5）に比べ、その差は 7.5 ポイントと好転傾向となっています。

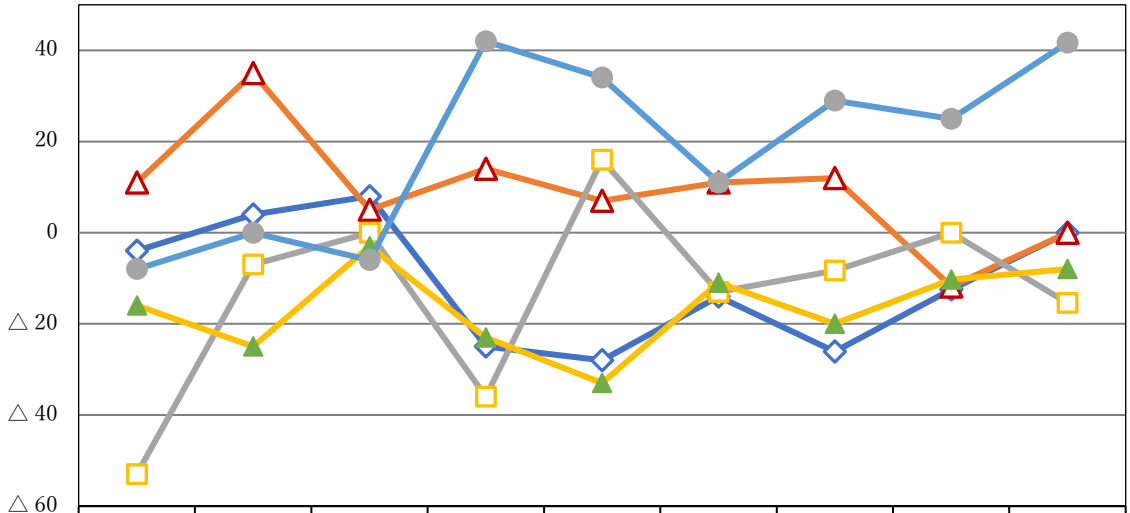
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」13.0%、「悪化企業」6.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は 7.0 となり、前回（D.I 値 6.7）に比べ、その差は 0.3 ポイント好転傾向となっています。

次期（10 月～12 月）見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」10.0%、「悪化企業」24.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は△14.0 となり、今期（D.I 値△1.9）に比べ、その差は 12.1 ポイント悪化傾向なっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」5.0%、「悪化企業」16.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は△11.0 となり、今期（D.I 値△10.2）に比べ、その差は 0.8 ポイント悪化傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」5.0%、「悪化企業」8.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は△3.0 となり、今期（D.I 値 8.9）に比べ、その差は 11.9 ポイント好転傾向となっています。

2-2．業種別の動向

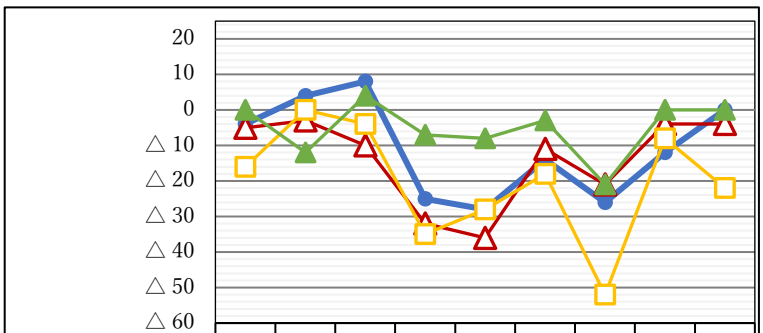


	3’9	3’12	4’3	4’6	4‘9	4‘12	5’3	5’6	5’9
建設業	△ 4	4	8	△ 25	△ 28	△ 14	△ 26	△ 13	0
製造業	11	35	5	14	7	11	12	△ 12	0
卸売業	△ 53	△ 7	0	△ 36	16	△ 13	△ 8	0	△ 15
小売業	△ 16	△ 25	△ 3	△ 23	△ 33	△ 11	△ 20	△ 10	△ 8
サービス業	△ 8	0	△ 6	42	34	11	29	25	42

1）　建　設　業

完成工事高

前年比で「好転企業」22.7%、「悪化企業」27.3%、D.I.値△4.5 と前年同期（△36.0）に比べ 31.5 ポイントの好転傾向を示しました。



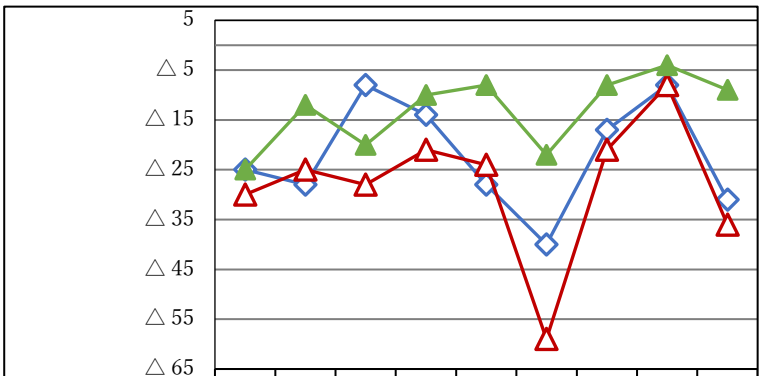
	3’9	3’12	4’3	4’6	4‘9	4‘12	5’3	5’6	5’9
業況	△ 4	4	8	△ 25	△ 28	△ 14	△ 26	△ 12	0
完成工事高	△ 5	△ 3	△ 10	△ 32	△ 36	△ 11	△ 21	△ 4	△ 4
採算	△ 16	0	△ 4	△ 35	△ 28	△ 18	△ 52	△ 8	△ 22
資金繰	0	△ 12	4	△ 7	△ 8	△ 3	△ 21	0	0

採　　算

前年比で「好転企業」9.1%、「悪化企業」31.8%、D.I.値△22.7 と前年同期（△28.0）に比べ 5.3 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△31.8（前年同期 D.I 値△28.0）、完成工事高 D.I.値△36.4（同△24.0）、資金繰り△9.1（同△8.0）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



	3’9	3’12	4’3	4’6	4‘9	4‘12	5’3	5’6	5’9
業況	△ 25	△ 28	△ 8	△ 14	△ 28	△ 40	△ 17	△ 8	△ 31
完成工事高	△ 30	△ 25	△ 28	△ 21	△ 24	△ 59	△ 21	△ 8	△ 36
資金繰	△ 25	△ 12	△ 20	△ 10	△ 8	△ 22	△ 8	△ 4	△ 9

2）　製　造　業

生　産　高

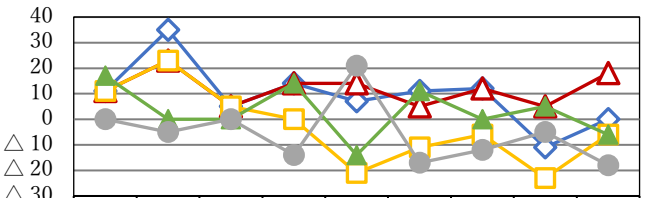
前年比で「好転企業」31.3%、「悪化企業」12.5%、D.I.値 18.8 と前年同期（14.3）に比べ 4.5 ポイントの好転傾向を示しました。

採　　算

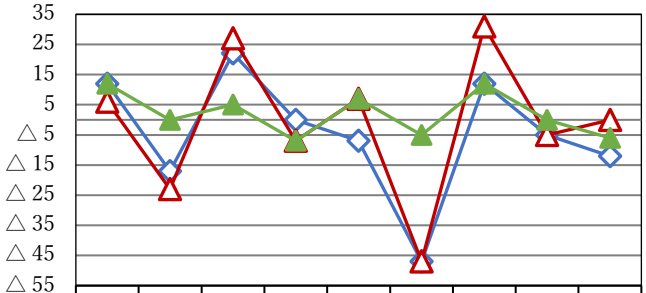
前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」18.8%、D.I.値△6.3 と前年同期（△21.4）に比べ 15.1 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△12.5（前年同期 D.I 値△7.1）、生産高 D.I 値 0.0（同 7.1）、資金繰り△6.3（同 7.1）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	11	35	5	14	7	11	12	△ 11	0
生産高	11	23	5	14	14	5	12	5	18
採算	11	23	5	0	△ 21	△ 11	△ 6	△ 23	△ 6
資金繰	17	0	0	14	△ 14	11	0	5	△ 6
在庫	0	△ 5	0	△ 14	21	△ 17	△ 12	△ 5	△ 18



	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	12	△ 17	22	0	△ 7	△ 47	12	△ 5	△ 12
生産高	6	△ 23	27	△ 7	7	△ 47	31	△ 5	0
資金繰	12	0	5	△ 7	7	△ 5	12	0	△ 6

3）　卸　売　業

売　上　高

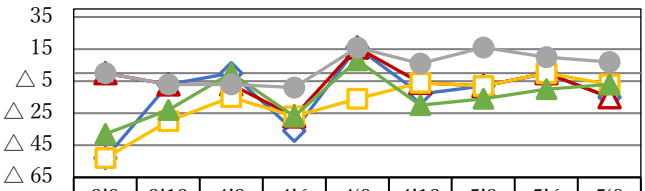
前年比で「好転企業」23.1%、「悪化企業」38.5%、D.I.値△15.4 と前年同期（16.7）に比べ 32.1 ポイントの悪化傾向を示しました。

採　　算

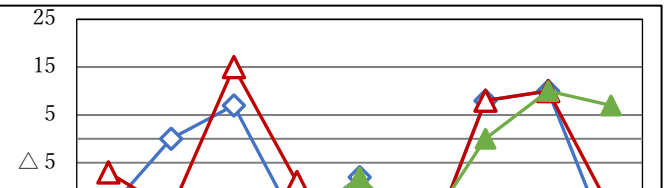
前年比で「好転企業」15.4%、「悪化企業」23.1%、D.I.値△7.7 と前年同期（△16.7）に比べ 9.0 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△23.1（前年同期 D.I 値 8.3）、売上高 D.I.値△15.4（同△25.0）、資金繰り 7.7（同△8.3）と前年同期に比べ、2 つの見通しでは好転傾向を示しました。



	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 53	△ 7	0	△ 36	16	△ 13	△ 8	0	△ 15
売上高	0	△ 7	△ 7	△ 27	16	△ 6	△ 8	0	△ 15
採算	△ 53	△ 30	△ 15	△ 27	△ 16	△ 6	△ 8	0	△ 7
資金繰	△ 38	△ 23	0	△ 27	8	△ 20	△ 16	△ 10	△ 7
在庫	0	△ 7	△ 7	△ 9	16	6	16	10	7

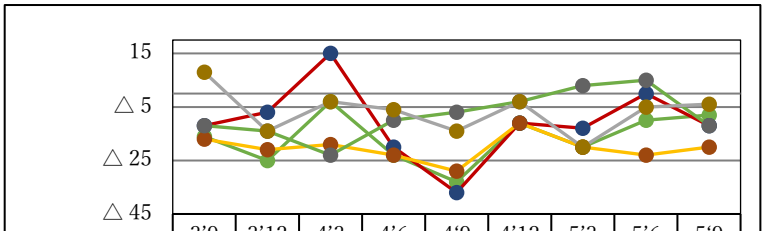


	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 15	0	7	△ 18	△ 8	△ 26	8	10	△ 23
売上高	△ 7	△ 15	15	△ 9	△ 25	△ 26	8	10	△ 15
資金繰	△ 23	△ 23	△ 23	△ 18	△ 8	△ 20	0	10	7

4）　小　売　業

売　上　高

前年比で「好転企業」16.0%、「悪化企業」28.0%、D.I.値△12.0 と前年同期（△37.0）に比べ 25.0 ポイントの好転傾向を示しました。



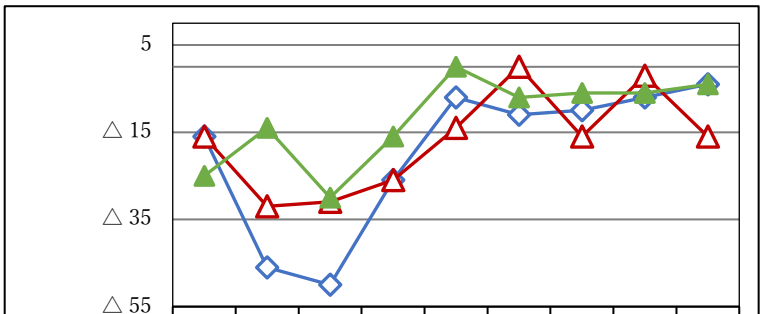
	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 16	△ 25	△ 3	△ 23	△ 33	△ 11	△ 20	△ 10	△ 8
売上高	△ 12	△ 7	15	△ 20	△ 37	△ 11	△ 13	0	△ 12
採算	△ 17	△ 21	△ 19	△ 23	△ 29	△ 11	△ 20	△ 23	△ 20
資金繰	△ 12	△ 14	△ 23	△ 10	△ 7	△ 3	3	5	△ 12
在庫	8	△ 14	△ 3	△ 6	△ 14	△ 3	△ 20	△ 5	△ 4

採　　算

前年比で「好転企業」12.0%、「悪化企業」32.0%、D.I.値△20.0 と前年同期（△29.6）に比べ 9.6 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△4.0（前年同期 D.I 値△7.4）、売上高 D.I.値△16.0（同△14.8）、資金繰り△4.0（同 0.0）と前年同期に比べ、2 つの見通しで悪化傾向を示しました。

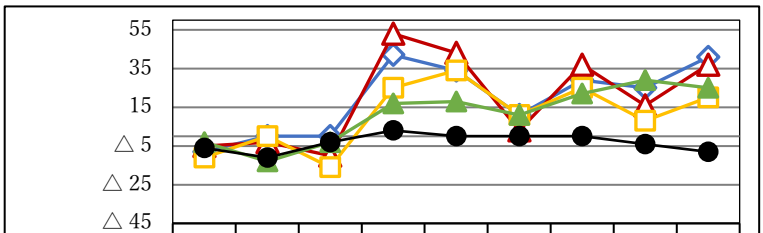


	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 16	△ 46	△ 50	△ 26	△ 7	△ 11	△ 10	△ 7	△ 4
売上高	△ 16	△ 32	△ 31	△ 26	△ 14	0	△ 16	△ 2	△ 16
資金繰	△ 25	△ 14	△ 30	△ 16	0	△ 7	△ 6	△ 6	△ 4

5）　サービス業

売　上　高

前年比で「好転企業」50.0%、「悪化企業」12.5%、D.I.値 37.5 と前年同期（43.8）に比べ、6.3 ポイントの悪化傾向を示しました。



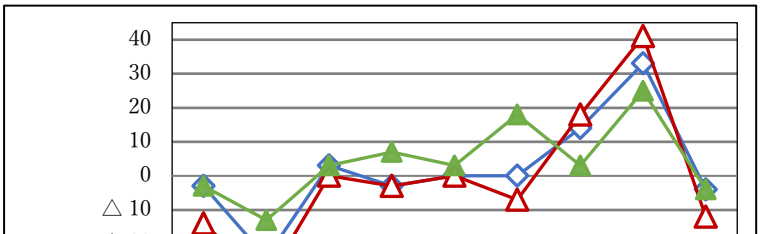
	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 8	0	0	42	34	11	29	25	41
売上高	△ 5	△ 3	△ 10	53	43	3	37	16	37
採算	△ 11	0	△ 16	25	34	11	25	8	20
資金繰	△ 3	△ 13	△ 3	17	18	11	22	29	25
在庫	△ 6	△ 11	△ 3	3	0	0	0	△ 4	△ 8

採　　算

前年比で「好転企業」33.3%、「悪化企業」12.5%、D.I.値 20.8 と前年同期（34.4）に比べ 13.6 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△4.2（前年同期 D.I 値 0.0）、売上高 D.I.値△12.5（同 0.0）、資金繰り△4.2（同 3.1）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



	3'9	3'12	4'3	4'6	4'9	4'12	5'3	5'6	5'9
業況	△ 3	△ 24	3	△ 3	0	0	14	33	△ 4
売上高	△ 14	△ 31	0	△ 3	0	△ 7	18	41	△ 12
資金繰	△ 3	△ 13	3	7	3	18	3	25	△ 4

第3章　業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表１のとおり、設備内容は表２のとおりです。

表１　業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	4　件	2　件	2　件	1　件	8　件	17　件
実施していない	18　件	14　件	11　件	24　件	16　件	83　件
合計	22　件	16　件	13　件	25　件	24　件	100　件

表２　業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	0　件	0　件	0　件	0　件	2　件	2　件
店舗	1　件	0　件	0　件	0　件	1　件	2　件
販売設備	0　件	0　件	0　件	0　件	1　件	1　件
車輌運搬具	3　件	1　件	0　件	0　件	2　件	6　件
付帯設備	0　件	2　件	2　件	1　件	1　件	6　件
ＯＡ機器	1　件	0　件	0　件	0　件	1　件	2　件
福利厚生施設	0　件	0　件	0　件	0　件	0　件	0　件
その他	0　件	0　件	0　件	0　件	0　件	0　件
合計	5　件	3　件	2　件	1　件	8　件	19　件

※複数回答あり

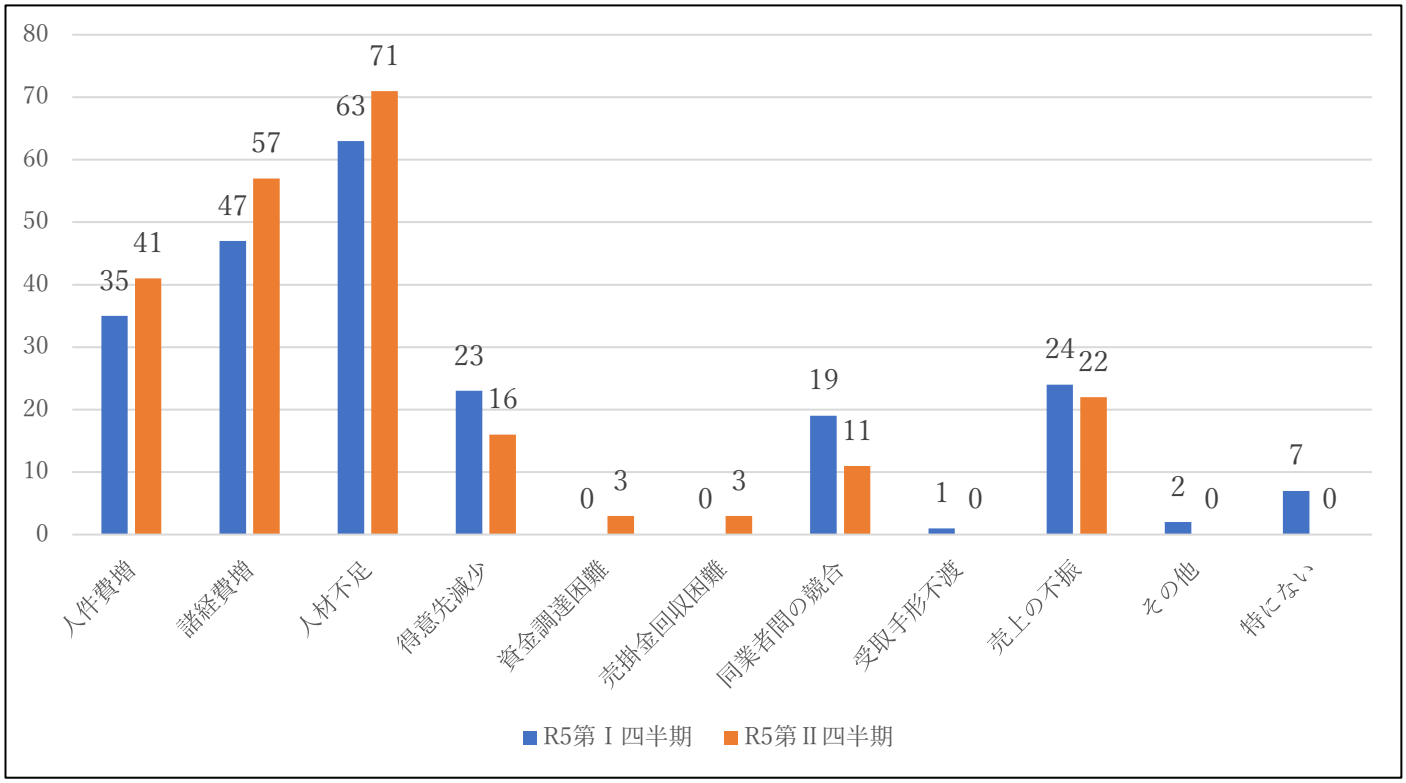
○全業種でみると設備投資に実施したのが 17 件、実施していないが 83 件となりました。前回は設備投資を実施したのが 20 件、実施していないが 84 件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輌運搬具、付帯設備、次いで土地、店舗、OA 機器となっています。前回車輌運搬具が最も多く、OA 機器が２番目に多く占めていました。

第４章　業種別　経営上の問題点

表１　業種別上位

	１　位	２　位	３　位	４　位	５　位
建　設　業	人材不足	諸経費増	人件費増	同業者間の競合 売上の不振	得意先減少 資金調達困難
製　造　業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	得意先減少
卸　売　業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少 売上の不振	特になし
小　売　業	人材不足	諸経費増	諸経費増 売上の不振	人件費増 同業者間の競合	特になし
サービス業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合
全　業　種	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	得意先減少

グラフ１　業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位５位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、小売業、サービス業では前回同様、「人材不足」が多く占め、製造業、卸売業では「諸経費増」が多く占めました。

第5章　業界の景気動向等その他のご意見

〇業界の問題点について

【建設業】

・人手不足、働き方改革（時間外労働)、更なる DX 化、業界再編（M&A）

・インボイスの取り扱い。

【製造業】

・人材不足、原材料費高騰のため利益減

・原発処理水問題。

・原料不足。

・原材料包装資材費の値上がり、価格転嫁が難しいこと等。

【卸売業】

・インボイス、電帳法に対する色々。

・運送業 2024 年問題で運賃の値上げが大幅にあり、車輛費・光熱費・人件費等経費の増大が見込まれる昨今の世界情勢により、為替の影響で物価高騰が続くのは死活問題となってくるので企業としても利益確保が優先的に図られる状況。2024 問題では運送会社の配達日が減ったり、入荷までの時間が長くなったり、ロットの数が増えたりと取引先を巻き込んでの問題となってくる。

【小売業】

・各部品、オイル、新車等値上げあり、価格上昇に伴い、お客様の財布のひもが固くなっています。

・得意先減少、節約志向。

・観光業としてはインバウンド、台湾は回復だが中国本土からはまだ。斜里のカズワンの風評被害はまだ続いている。（かような事態があると非常に映影がある！心すべきです。）

・人口減対策を官民一体となって効果がある施策をやってほしい。

・猛暑の影響により需要の時期がずれている。

【サービス業】

・注文書があっても変更や仕事自体がなくなっても保障がないので大変です。

・10/20～11/29HOKKAIDOLOVE 割再開が決まり、旅行需要向上策の面がありますが既存の宿泊については先行予約の状況が悪く、11 月以降の業況に不安がある状況。国内のパッケージ旅行もそれほど本数が無く、依然として動きが鈍い状況が続いている。市内の昼食立ち寄り場所の減少により、特に夏冬シーズンのツアー設定に影響が出ている。

・業界全体の課題として、技術職員の高齢化もあり、人材の確保・技術継承について、当該業種・地域性の魅力を発信し、若手技術者の確保につなげることが必要です。　【若手技術者（新卒者）の採用・人材育成に係る問題点】・新卒者の地元企業への就職希望者が極めて少ない。・採用条件において、中央大手企業との格差是正を要する。・現業を担当しながら人材育成を行う上司の負担が増加している。※社会情勢の変化に応じた、社内体制について常時の見直しを要する。

・需要の落ち込み。